



多くの感動をありがとう！

「感動することができる教師が学校を変えることができる」と前号で書きました。この運動会を通して、私たち教職員は多くの感動をもらいました。職員の感想から一部を紹介します。

- ◇ これまでと比べて、自分で考えて動くことができていた。
- ◇ バトンパスがとても上手になった。リレーの差が小さくなった。
- ◇ 徒競走の呼名後の返事の大きさが、テントまで響いてきた。
- ◇ 5, 6 年生が下級生を指導する中で、本当に頼もしくなった。
- ◇ おうちの人におんぶされているときの表情が微笑ましかった。
- ◇ 募金や競技への協力、大きな拍手など地域の人、保護者の皆さんの学校への思いがこもった運動会だった。
- ◇ 座って待つ姿勢、拍手、体を使って見せる動き、など細かいところまで「静と動」の意識が高まった。
- ◇ 代表の挨拶や仕事を堂々とやっていた。

このように職員一同、語りつくせばキリがないほどの感動体験を共有しました。キラキラパワーの運動会にするために心掛けたことは、今年の学校スローガンでもある「一人ひとりが主人公 ～学校はみんなでつくる～」という言葉です。ダンスや応援では特に、「悪いところを注意する」という指導の仕方よりも、「手本となる箇所をほめる」「上手な人を参考にさせる」という指導を徹底しました。子どもたちは、どうする方がいいのか自分で考えて選択し、行動にうつしていきました。主人公は自分で考えて行動するものなのです。

その結果、勝敗・速さ・強さ・うまさだけを評価する運動会ではなく、「待つ姿勢」「話の聞き方」「あきらめない姿」「思いやり」「仕事の責任をはたす姿」など多くのきらきら光る主人公を見つけ、感動することができました。このような感動を味わうことができたのも、ご来賓の皆様をはじめ、保護者の皆さん、消防団の皆さん、地域の皆さんのおかげです。大草小らしい「地域とともにつくる運動会」を終えることができたことに、改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今後とも、本校へのご支援・ご協力をお願いいたします。

次は、6月8日に予定されている田植えでお会い出来たら幸いです。